

2026 年 2 月 6 日

報道関係各位

株式会社カネカ

広報（Public Relations）部

NEDO グリーンイノベーション基金事業「次世代型タンデム太陽電池量産技術実証事業」に採択

株式会社カネカ（本社：東京都港区、社長：藤井 一彦）は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募した「グリーンイノベーション基金事業／次世代型タンデム太陽電池量産技術実証事業」（※1）に採択されました。

タンデム型ペロブスカイト太陽電池は、当社が生産しているヘテロ接合型結晶シリコン太陽電池にペロブスカイト太陽電池を重ね、それぞれが異なる波長の光を吸収することで、従来よりも高い変換効率と高耐久性を実現する次世代型太陽電池（※2）です。

この度の実証事業では、屋根・壁などの住宅（ZEH）・ビル（ZEB）向けの実証試験を行い、次世代型タンデム太陽電池の生産技術開発を進めてまいります。将来的には 40%以上の高効率化に挑戦し、従来の結晶シリコン太陽電池よりも低い発電コストの実現を目指します。今後、2028 年度にはタンデム型ペロブスカイト太陽電池の製品販売を開始する計画です。

当社は「カネカは世界を健康にする。KANEKA thinks “Wellness First”．」という考えのもと、すべての人が自然の恵みを享受し、クリーンで持続可能な資源とエネルギーを利用できる社会の実現を目指しています。今後も太陽電池をはじめとする環境配慮製品を活用したトータルエネルギーソリューションを通じて、地域社会への貢献を続けてまいります。

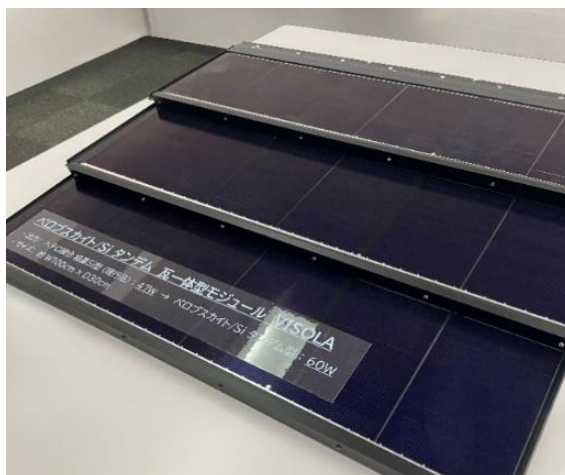
以 上

（※1）テーマ名「高効率、高信頼性タンデム型ペロブスカイト太陽電池の量産技術開発とその技術実証」

（※2）当社は高品質な結晶シリコン太陽電池を量産できる国産メーカーであり、高効率太陽電池の開発を継続的に進めています。



タンデム型ペロブスカイト太陽電池  
軽量モジュール



タンデム型ペロブスカイト太陽電池  
住宅用瓦一体型モジュール